

2010年9月8日
成田国際空港株式会社

第22回海上防災訓練の実施について

成田空港で使用する航空燃料は、主に東京湾内にある石油会社の製油所等からタンカーにより千葉港頭石油ターミナルまで海上輸送され、棧橋からローディングアームを用いて揚油しています。その後、航空燃料はパイプラインにより成田空港まで輸送しています。

弊社では、航空燃料の漏洩や火災に備え、関連会社と自衛消防隊を組織しており、成田国際空港航空燃料パイプライン保安規程に基づく自衛消防訓練を毎月実施するとともに、さらに年2回、総合訓練として大規模な訓練を行っております。

今般、総合訓練として、海上での航空燃料漏洩事故等を想定した海上防災訓練を下記のとおり実施いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 日時: 平成22年9月14日(火)14:00～15:10(荒天の場合:9月16日(木)の同刻)
2. 場所: 千葉港頭石油ターミナル3号棧橋付近及び前面海域
3. 目的: 本訓練では、海上での航空燃料流出事故及び船舶火災発生時において、防災資機材及び消火設備を活用して初期活動を迅速かつ確実に実行することにより、人的及び物的被害を最小限度にとどめ、また、関係機関との連携活動を実施することにより応援体制の確立を図ることを目的とする。
4. 主催: 成田国際空港株式会社
5. 参加機関等: 11機関(約100名) 船艇9隻、化学消防車等3台
6. 訓練項目:
 - (1)揚油立会者による緊急連絡 (2)初期防除 (3)千葉海上保安部等への緊急通報
 - (4)自衛消防隊出動 (5)船艇出動
 - (6)現場指揮本部(自衛消防隊)及び調整本部(海上保安部との合同本部)の設置
 - (7)流出油拡散防止及び回収 (8)現場立入規制(構内)
 - (9)負傷者の救護と応急処置 (10)船舶火災に対する合同放水
7. 訓練概要:

NAA3号棧橋で揚油中、地震により荷揚げ用接続管(ローディングアーム)が破損、航空燃料約100リットルが海上に流出したとの想定で初期対応、自衛消防隊出動、現場指揮本部(自衛消防隊)・連絡調整本部(海上保安部)設置、流出油拡散、救護活動等を実施し、その後、着棧中のタンカー甲板から火災が発生したとの想定で、陸上の消防車と海上の消防艇等からの放水により、火災を鎮圧させること、鎮火後の人員機材片付け、報告、総員集合等の訓練を実施。

【参考：2009年度訓練状況写真】



【吸着マットによる漏洩油回収】



【自衛消防隊出動①】



【自衛消防隊出動②】



【負傷者救護活動】



【火災発生】



【消火活動(一斉放水)①】



【消火活動(一斉放水)②】



【消火活動(一斉放水)③】



【総員集合】